



## 錦江湾にヒラメの稚魚放流



5月8日(火)、大根占漁港沖でヒラメの稚魚1万1200匹が放流がされました。これは、「豊かな海づくり広域推進事業」を活用しておおすみ岬漁協が行っているもので、水産資源の保全や漁業の経営安定などを目的に行われています。今回は、体長約7cmの稚魚が放流されました。

## 「人権の花運動」開校式



4月25日(水)、大根占小学校で「人権の花運動」の開校式が行われ、町人権擁護委員の山脇幸夫さんによる「いじめ問題や助け合いの心、地域での見守りについて」の講話や、ヒマワリの種が贈呈されました。児童代表挨拶では川越成泰さんが「人権標語にも積極的に取り組みたい」と決意を述べました。

## 「町有林見締人」に委嘱状



5月10日(木)、役場本庁で「町有林見締人」の委嘱状交付式が行われました。今回は、12名の方が見締人に委嘱され、町有林の誤伐や盗伐の見締めりや林道・作道道の点検などを行っていただきます。委嘱状交付後には、町有林の平成30年度事業計画等について協議されました。

## 荒茶品質向上共進会を開催



5月9日(水)、農協大根占支所で「錦江町荒茶品質向上共進会」が行われ、町内の茶生産者39名が出品しました。味や香り、水色などが審査され、大根占地区では今村利和さんの「やぶきた」が、田代地区では野本輝勇さんの「はるもえぎ」が共に最優秀賞に選ばれました。

## 女性目線で情報発信！



5月2日(水)、役場2階で若手女性農林水産業クラブ「花蓮会(かれんかい)」の設立総会が行われました。これは、女性目線での情報発信や地元食材を使った加工品開発などを目的に結成されたもので、現在の会員は22名。総会では、会長に城下朝美さん、副会長に土岩美子さんが就任されました。

## 3校合同で地引網漁を体験



5月12日(土)、神川海岸で神川小学校、宿利原小学校、池田小学校の児童81名が、総合学習の一環として地域資源を活用した地引網漁を体験しました。昨年に続き3校合同で企画したもので、同地区の坂下水産の協力で沖合に網を設置し、児童や保護者らで引き揚げました。